

Mk6 Pre Dive Check List (ver. 3.0)

電子モジュールの点検：パーツ不足／破損／汚れ

- 本体（Oリング2本）
- ファーストステージ（Oリング各1本）
- 中圧ホースと接続部の確認

ハウジングの点検：パーツ不足／破損／汚れ

- 本体（酸素用Oリング1本）
- ボトムプレート（Oリング3本、スポンジ1）
- トッププレート（Oリング2本）

ループの点検：パーツの不足／破損／汚れ

- ホース4本（Oリング上下各1本）
- Tポート2個（Oリング1本）
- カウンターリング2個
- マウスピース

1 バッテリー／ガス／設定

- 1.1 バッテリーの充電
- 1.2 充填圧の確認（Air-200bar, O2 -130bar）
- 1.3 使用ガスのアナライズ
- 1.4 PC コンフィグでの Mk6 設定

2 スクラバー

- 2.1 スクラバーの中身と上下を確認（リブが上）
- 2.2 ボトムプレートにスクラバーをセット
- 2.3 スクラバーにトッププレートをセット

2.4 カートリッジにスクラバーをセット

2.5 スクリューを手締め（4本）

3 後部ホース

3.1 カートリッジにホースを取付け

4 電子モジュール

4.1 電子モジュールを挿入

4.2 スクリューを手締め（2本）

5 シリンダ

5.1 ダイバーの右肩に酸素シリンダをセット

5.2 ダイバーの左肩に空気シリンダをセット

6 ファーストステージ

6.1 ファーストステージの取り付け

7 BCD

7.1 BCD の取付け

7.2 中圧ホースの取付け

8 Tポート

8.1 カウンターリングの確認（右側 OPV あり）

8.2 左右カウンターリングに T ポート取付け

8.3 T ポート向きの確認

9 カウンターリングと後部ホース

9.1 カウンターリングを BCD に取付け

9.2 後部ホースを T ポートに取付け

10 前部ホースとマウスピース

- 10.1 マウスピース内バルブの確認
- 10.2 マウスピースにホースを取付け
- 10.3 CC モードで頬当て確認
- 10.4 ホースを T ポートに取付け
- 10.5 中圧ホースをマウスピースに取付け
- 10.6 HUD をマウスピースに取付け

11 OPV 閉鎖

12 ネガティブ・ループ・チェック

13 セルフテスト開始

- 13.1 バッテリーを挿入
- 13.2 または W コンタクトに触れる

14 プリ・ブリーズ

- 14.1 しゃがんだ姿勢で鼻をつまみ 5 分間実施
- 14.2 実施中に以下を確認
 - セットポイントは正しく表示するか？
 - ディスプレイは正しく表示するか？
 - ADV は作動するか？

- 14.3 中断した場合は、再度 5 分間実施

15 ベイルアウト・システム

- 15.1 バルブを開く
- 15.2 シリンダ圧力を確認
- 15.3 セカンドステージの作動を確認

電源の切り方

- 1 W コンタクトが濡れていないことを確認
- 2 バルブが全て閉まっていることを確認
- 3 マウスピースをパージして圧を抜く

セルフテストのヒント

- 1 **シリンダーバルブ**：実施前にバルブを開ける必要はない。開けておいても良いが、ガスが無駄に使用される。
- 2 **カウンターラングボリュウム**：実施前にカウンターラングボリュウムは 50% 以下、OPV は閉じておく。
- 3 **センサー**：寒い場所では酸素センサーエラー(#53)が起きることがある。室内で行うか、外した酸素センサーを手で握って暖めた後に再テスト。または交換。

休憩時間の Mk6：酸素充填が不要の場合

- 1 電源を切る。
- 2 スクラバーを取り出し、スポンジの水分を取り除く。
- 3 スクラバーをもとに戻す。
- 4 電子モジュールを外し、センサーの湿気を取り除く。

休憩時間の Mk6：酸素充填が必要な場合

- 1 電源を切る。
- 2 スクラバーを取り出し、スポンジの水分を取り除く。
- 3 古いスクラバーに印をつける。
- 4 新しいスクラバーをカートリッジにセットする。
- 5 酸素を充填する。(規定タンクで最大 130bar)
- 6 電子モジュールを外し、センサーの湿気を取り除く。